

豊中市告示第284号

豊中市公共下水道事業業務状況の公表

豊中市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例（昭和41年豊中市条例第46号）第8条の規定による令和3年10月1日から令和4年3月31日までの業務状況を、次のとおり地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき公表します。

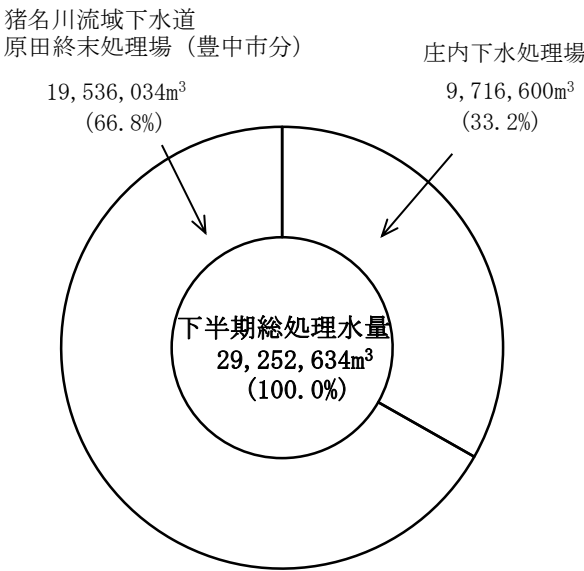
令和4年6月1日

豊中市長 長内 繁 樹

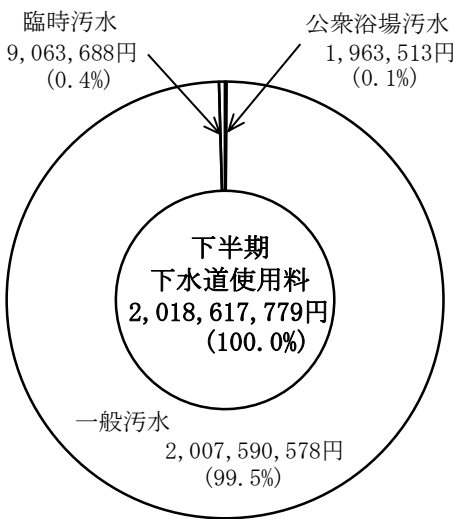
令和4年(2022年)3月31日 現在

排水人口	399,941 人
処理可能区域人口	399,941 人
処理可能区域戸数	178,065 戸
年間総処理水量	69,224,925 m ³
一日平均処理水量	189,657 m ³

下半期総処理水量とその区分



下半期下水道使用料収入



令和3年度(2021年度)下半期予算の執行状況 (消費税及び地方消費税込み)

收益的收支

収 入 7,324,232,906 円 14,270,881,203 円

予 算 費 目		下 半 期 予 算 の 執 行 状 況												累 計
		0	5億	10億	15億	20億	25億	30億	35億	40億	45億	50億	55億	
営 業 収 益	下 水 道 使 用 料													4,020,541,940 円
	2,018,617,779 円													
	雨 水 処 理 負 担 金													2,660,524,771 円
	1,272,458,771 円													
	流域下水道原田終末処理場 受託管理負担金収入													2,610,500,174 円
	1,219,373,924 円													
	流域下水道終末処理場 建設受託事業収入(繰越分含む)													2,776,815,001 円
1,698,789,401 円														
空 港 貯 留 施 設 受 託 管 理 負 担 金 収 入	空 港 貯 留 施 設 受 託 管 理 負 担 金 収 入													11,461,389 円
	11,461,389 円													
	手 数 料 収 益													605,000 円
	70,000 円													
	そ の 他 営 業 収 益													3,660,276 円
	3,660,276 円													
営 業 外 収 益	受 取 利 息													420,000 円
	416,356 円													
	他 会 計 補 助 金													132,269,008 円
	53,378,508 円													
	消 費 税													32,446,161 円
	32,446,161 円													
	長 期 前 受 金 戻 入													2,014,349,204 円
1,011,733,147 円														
雑 収 益	雑 収 益													7,288,279 円
	1,827,194 円													

支 出 8,920,411,564 円 13,490,580,684 円

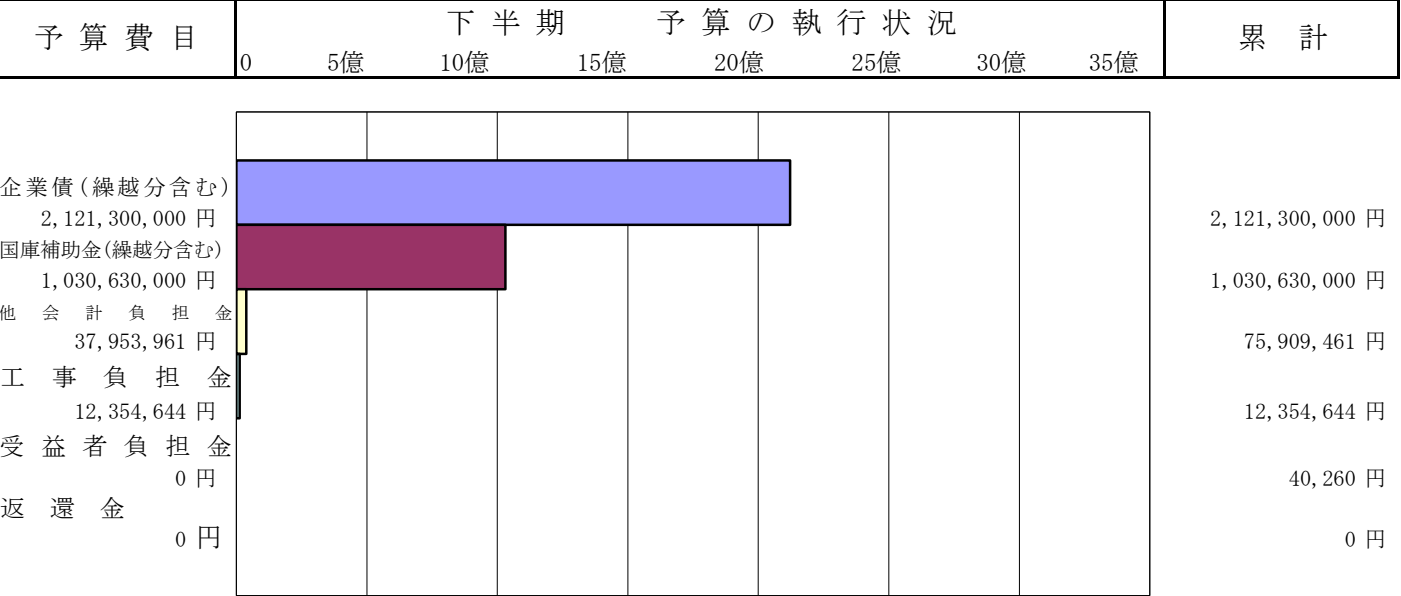
		0	5億	10億	15億	20億	25億	30億	35億	40億	45億	50億	55億	60億	
営業費用	職員給与費														1,058,433,504 円
	減価償却費														(うち退職給付費)
	その他(繰越分含む)														4,301,021,637 円
															7,754,847,566 円
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費														373,868,984 円
	雑支出														2,408,993 円

0 △5億 △10億 △15億 △20億 △25億 △30億 △35億 △40億 △45億 △50億 △55億 △60億

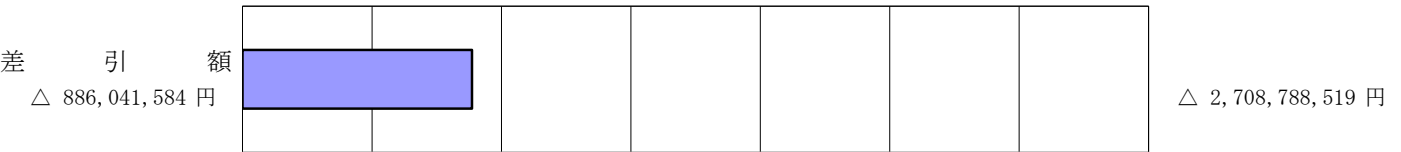
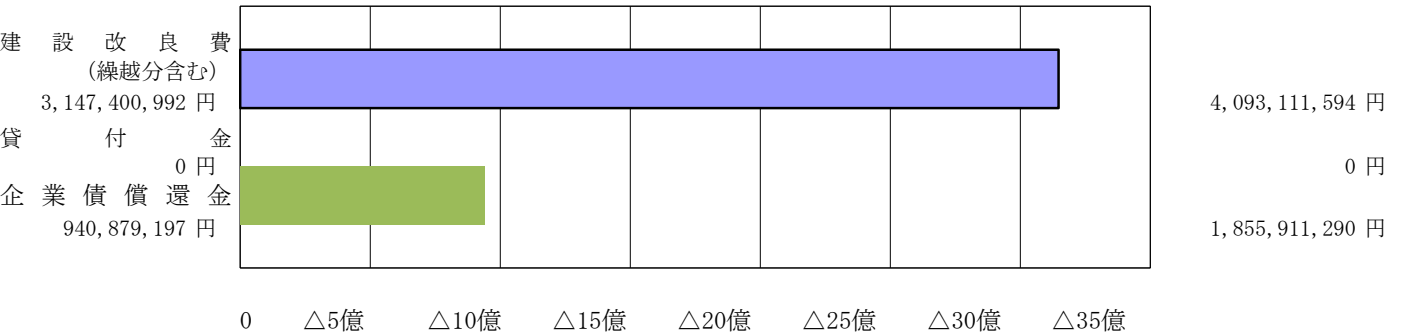
[illegible]

資本的収支

収 入 3, 202, 238, 605 円 3, 240, 234, 365 円

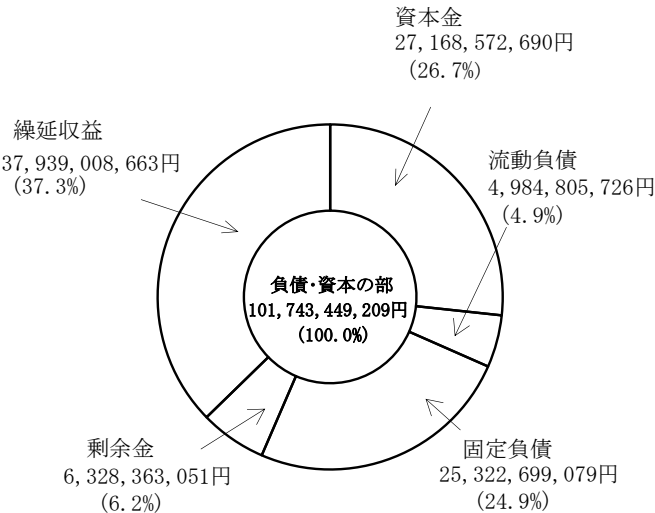
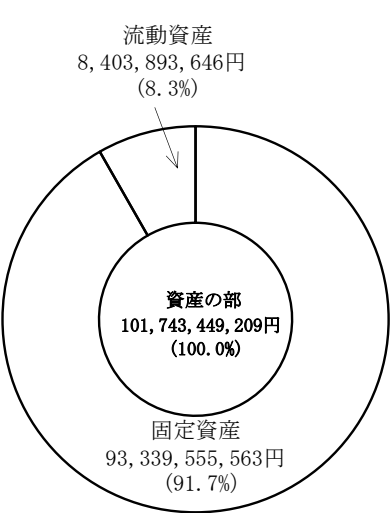


支 出 4, 088, 280, 189 円 5, 949, 022, 884 円



貸借対照表（消費税及び地方消費税抜き）

[令和4年(2022年)3月31日現在]



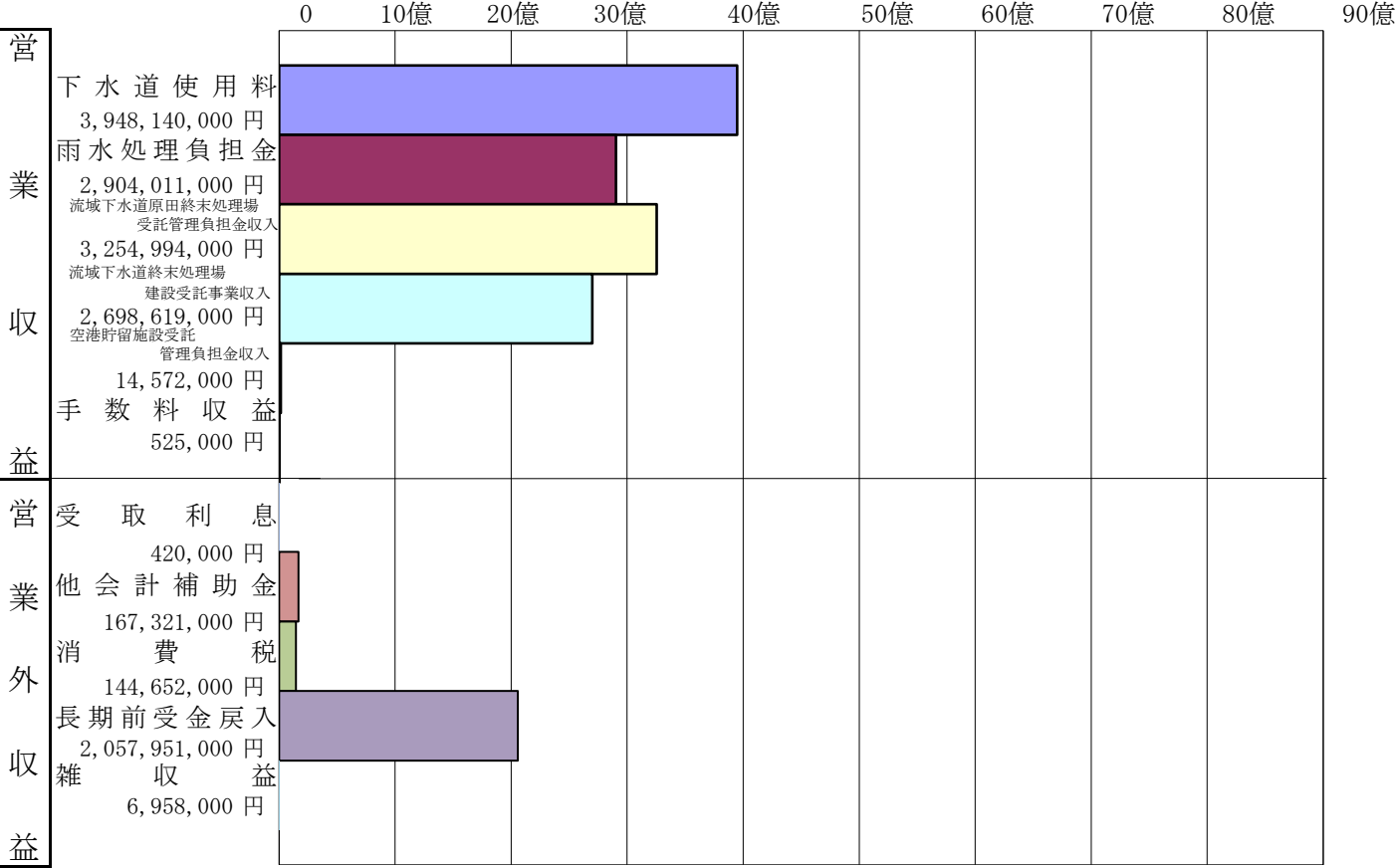
企業債現在高
一時借入金現在高

26, 713, 548, 610 円
0 円

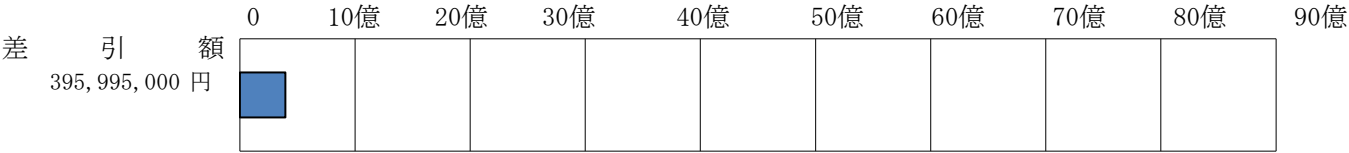
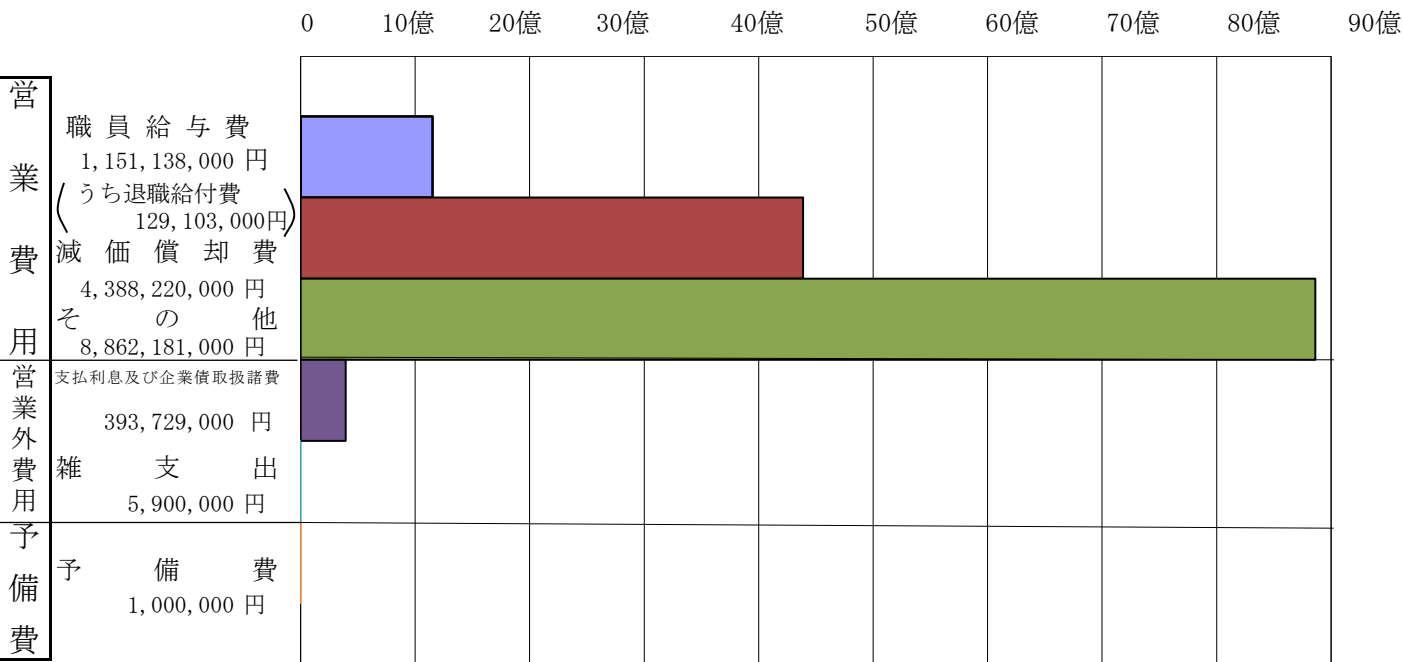
令和4年度(2022年度)予算の状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

収 入 15,198,163,000 円

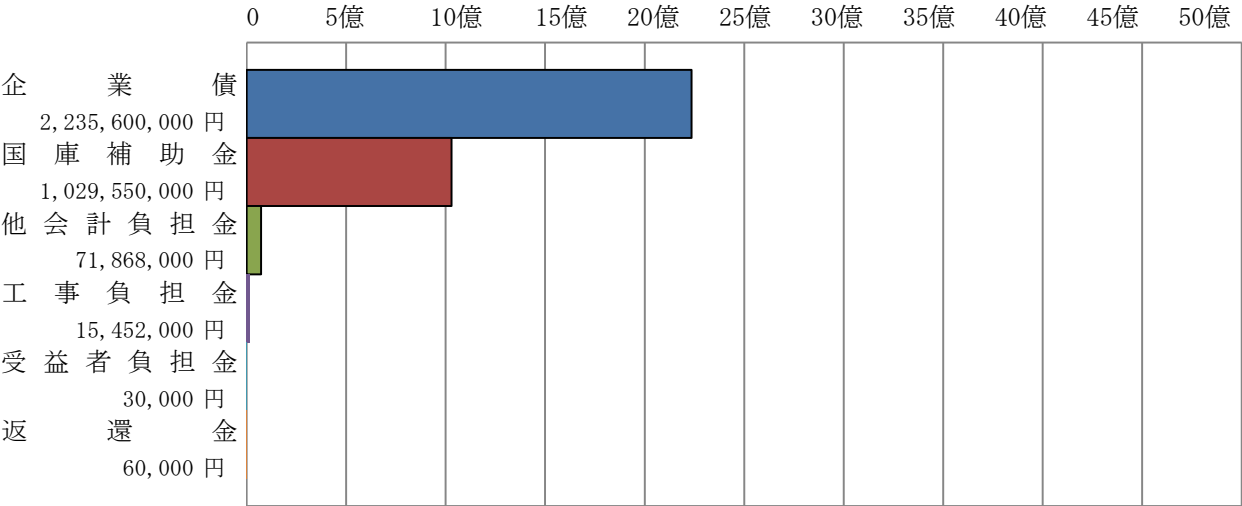


支 出 14,802,168,000 円

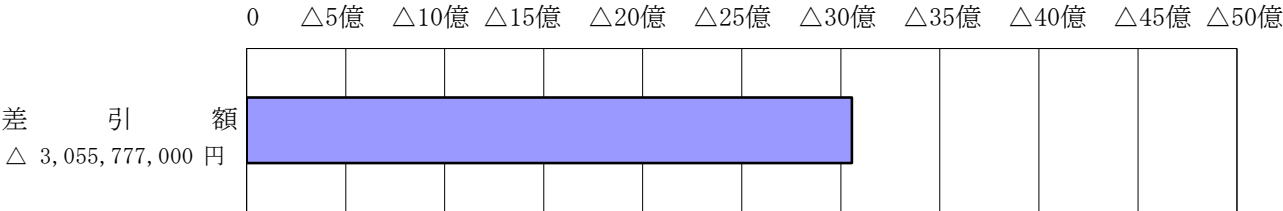
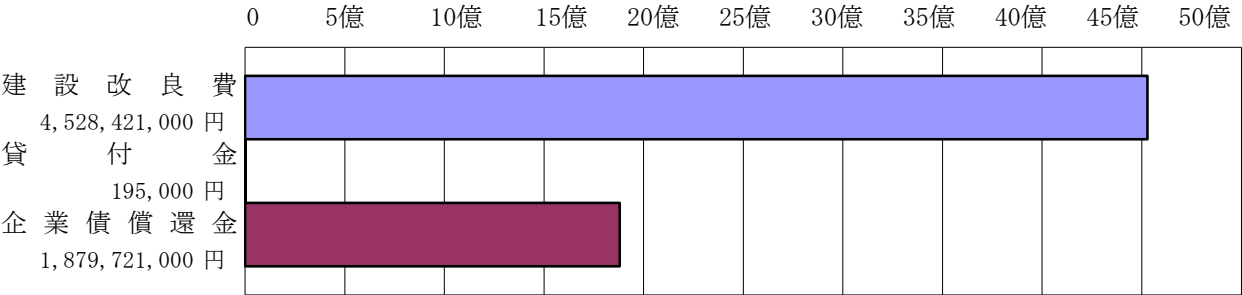


資本的収支

収 入 3,352,560,000 円



支 出 6,408,337,000 円



令和 4 年度（2022 年度） 経営方針

上下水道局は、「第 2 次とよなか水未来構想」に掲げた 6 つの目ざすべき将来像の実現を使命としています。令和 4 年度の予算編成においても、6 つの将来像の実現に向け、上下水道施設の計画的かつ持続的な維持管理・改築更新および技術の継承に努めながら、私たちの暮らしや産業活動に欠くことのできないライフラインとしての機能確保を図ります。あわせて、効率的な事業運営や人材育成に努めながら、お客さまの視点に立った持続可能な経営基盤の確立をめざします。

＜水道事業会計＞

令和 3 年度決算は、482,023 千円の純利益を確保することができ、資金剰余額は、4,262,099 千円となる見込みです。

収入については、対前年度比で有収水量が 454,649 m³の減、給水収益は 98,118 千円の減となっており、水需要の減少等により、収益の根幹となる給水収益は引き続き厳しい状況が予想されます。

費用については、管路の更新、管路の耐震化など老朽化した施設の更新に関して必要となります。

限られた財源を計画的かつ効率的に活用し、安定給水を確保していくため、事業を着実に進めていきます。

＜下水道事業会計＞

令和 3 年度決算は、420,408 千円の純利益を確保することができ、資金剰余額は、5,298,807 千円となる見込みです。

収入については、対前年度比で有収水量が 144,755 m³の減、下水道使用料が 27,536 千円の減となり、水道事業会計と同様に、引き続き厳しい状況が予想されます。

費用については、浸水対策、老朽化した管路の改築などに関して必要となります。

限られた財源を計画的かつ効率的に活用し、下水道を持続・強化していくため、事業を着実に進めていきます。